

第3回

都心～ウォーターフロント間における 連節バス等運行に関する協議会



目次

1. 本格運行に向けた協議状況について
 - (1) 運行計画について
 - (2) 本格運行に向けた取り組みについて
 - (3) 沿線施設との連携施策について
2. トータルデザインについて
3. 令和2年度プレ運行について
4. 今後のスケジュール

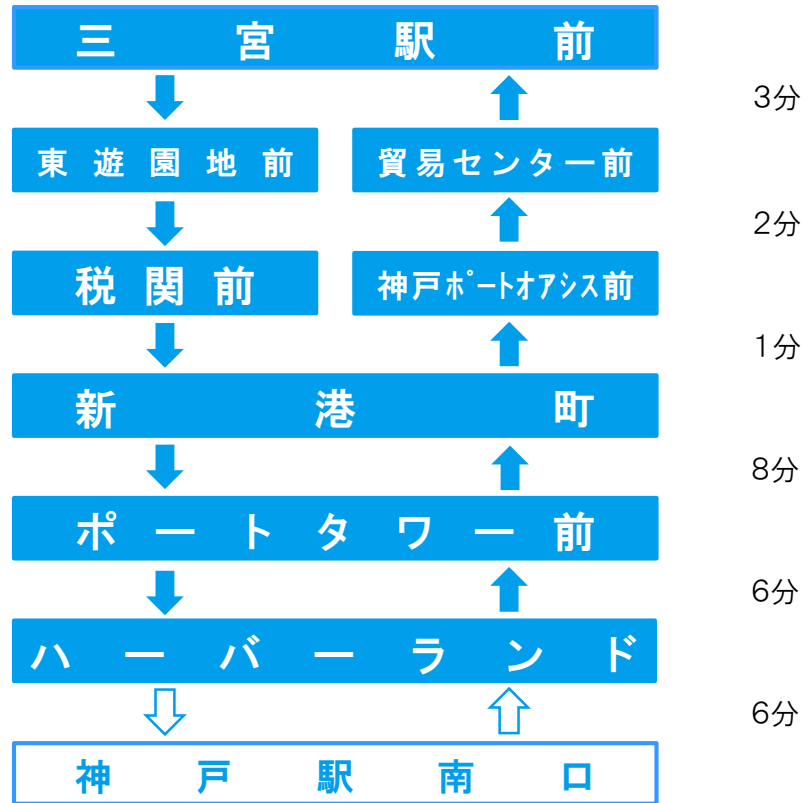


1. (1) 運行計画について (ルート等)



■運行計画 (案)

- 車 両： 連節バス4台 (R3.4時点は2台)
 - 運 賃： 210円 (1日乗車券500円)
 - 運行時間： 9:00 ~ 20:30
 - 運行間隔： 20 ~ 30分
 - 所要時間： 約45分 / 1周
- ※開始時期： 令和3年4月頃



※神戸駅への進入路とルートについて検討・協議中
了解が得られ次第、神戸駅バス停の運用開始

1. (1) 運行計画について (バス停)



■各バス停箇所



(1) 連節バス運行に必要な工事・検討

1 ポートタワー前

- ・ポートタワーや中央ビルのリニューアルについて検討中。
- ・バス停が干渉する可能性があるため、影響のない箇所(プレ運行時のバス停)を暫定利用

2 京橋交差点

- ・現状の交差点では、左折出来ない。
- ・今年度、兵庫国道事務所により改修予定。

3 神戸駅(詳細次頁)

- ・駅前の進入・転回に課題があり、現状運行困難
- ・駅前停車に向けて、引き続き、検討・協議を実施。

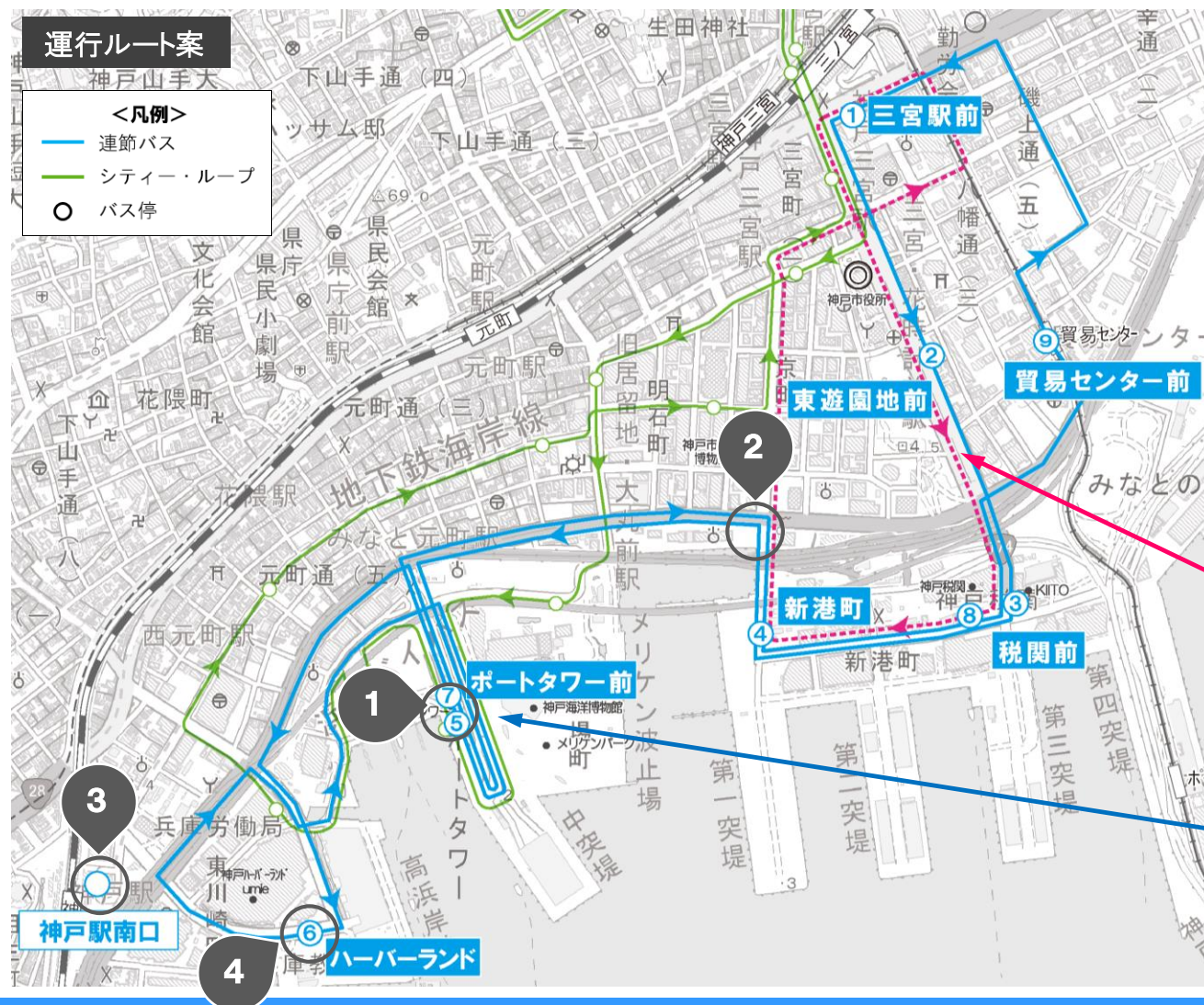
(2) 定時性確保に向けた取り組み

4 ハーバーランドバス停付近

- ・ハード整備(バス停の改修やバス発着空間の確保など)について、現在、協議中。
- ・ソフト対策(啓発活動など)についても、沿線事業者と連携を図る。

5 乗降方法(検討中)

- ・信用乗車方法
- ・例:福岡BRTでは、中扉から乗車して、前扉および後扉から降車する。



(3) 通勤需要に応じた運行計画

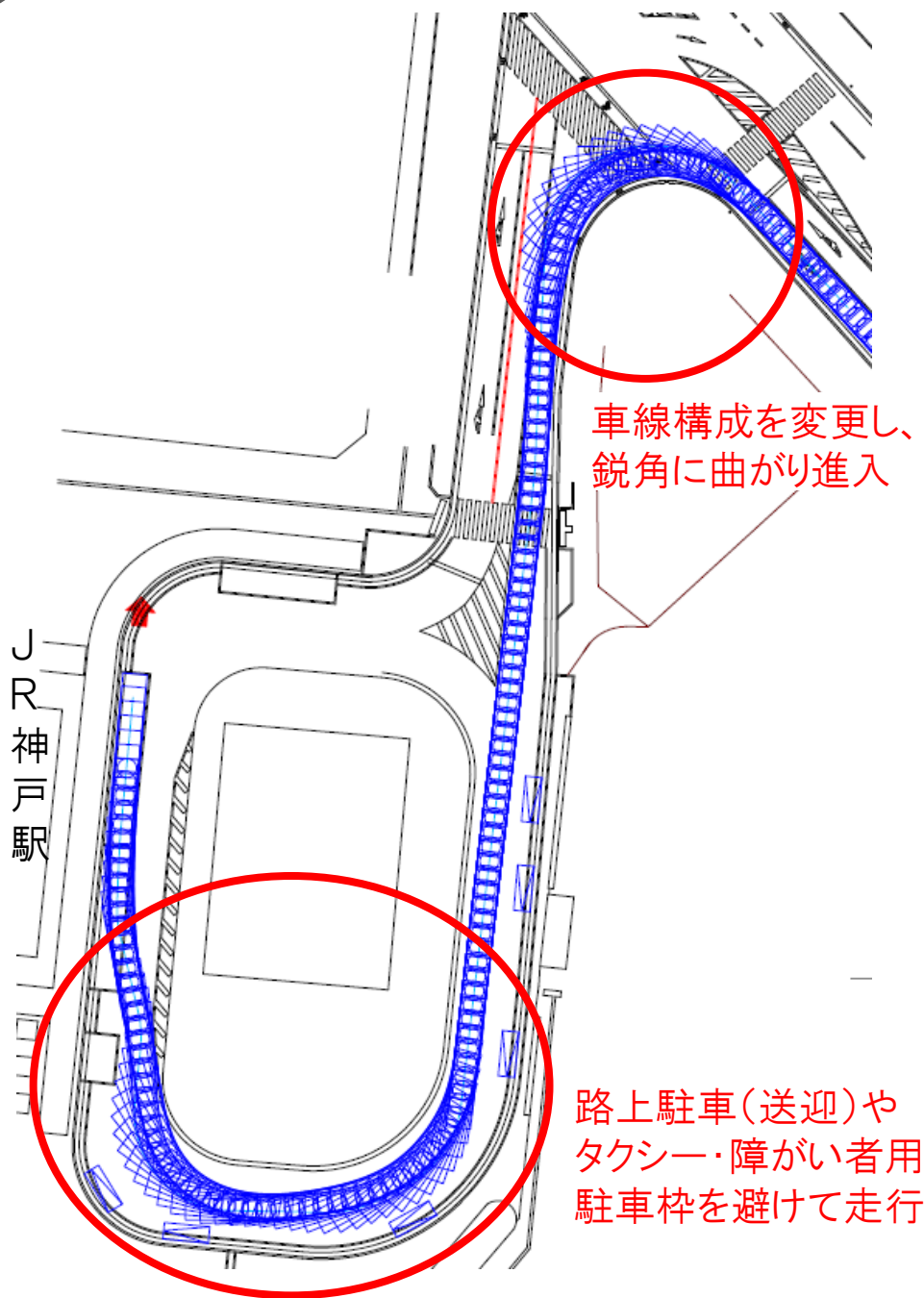
- ・新港突堤第一基部の再開発による通勤需要を取り込むため、朝夕のみ「三宮駅前」と「新港町」を結ぶルートの設定を検討中。
- ・具体的なダイヤ設定等については、今後、関係者と協議し、決定していく。

(4) ポートタワー前バス停について

- ・1つのバス停に2方向のバスが停車するため、利用者に分かりやすいよう工夫が必要



3 神戸駅について



■ 課題

新神戸駅前ロータリーへの進入やロータリー内での転回について、円滑・安全な走行に懸念。



■ 検討・協議

交通管理者・運行事業者と検討・協議を行った結果、別ルートからの進入や道路改良等の検討が必要



■ 今後

神戸駅への連節バス停車をめざし、引き続き、検討・協議を実施



■目的

沿線施設の賑わい創出



連節バスの利用促進

■取り組み内容(案)

①PR・イベント

- マスコミを交え、プレ運行にあわせた新車両お披露目イベントを通じて、連節バスの認知度を高める。
- 沿線施設のホームページでアクセス手段として連節バスを記載していただく。
- 施設内にパンフレットを設置していただく。
- ウォーターフロントで開催されるイベントと連携し、アクセス手段として利用してもらう。
- バスの車内放送などを用いて、施設のPRを行う。

②企画乗車券

- 乗車券アプリ「PassRu」で1日乗車券を作成し、沿線施設のお得なクーポンを設定する。
- 地下鉄・市バス、シティー・ループなど周辺交通機関との連携した1日乗車券を発行する。
- コベリンとの連携を図る。

③サポーター制度の導入

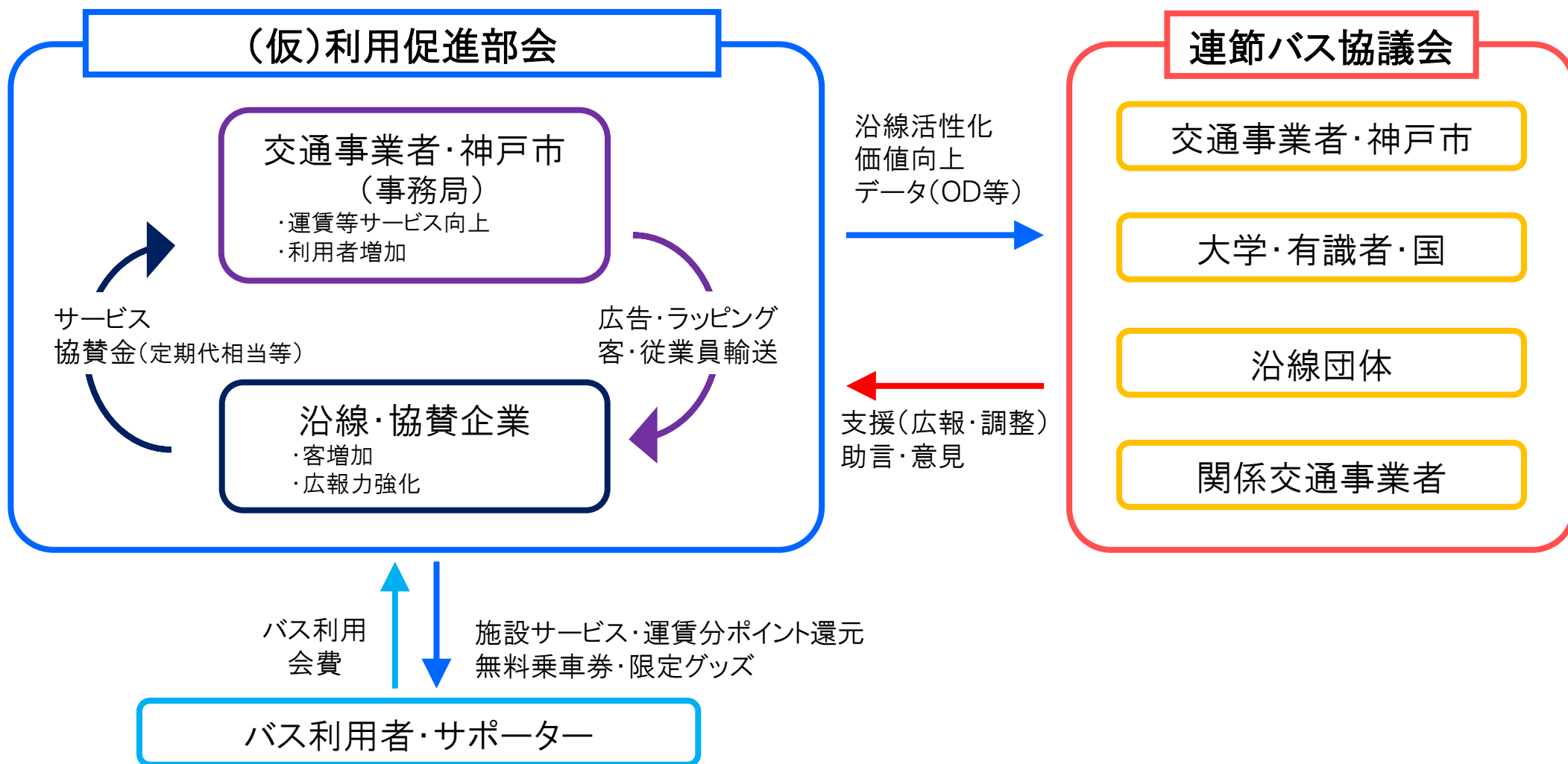
- 企業向けには、車両やバス停などに企業広告を記載
- 個人向けには、会員証、無料乗車券、オリジナルグッズなどの特典

④その他

- 教育委員会と連携し、神戸市内小学校の校外学習に、連節バスに乗り込んでウォーターフロントエリアを周遊する企画を提案する。
- バス停名のネーミングライツ(共同使用のバス停もあるため協議が必要)



■スキームイメージ(案)



■事例:日の丸自動車(東京)

- ・市街地の回遊性向上・地域活性化の手段として民間が常時運行
- ・東京ベイシヤトル(2000年～)等、4路線の無料巡回バスを沿線企業者や団体の協賛金で運営、施設・企業のビル前に停車



■本事業におけるトータルデザインとは

わかりやすさや、使いやすさ、快適性に加えて、みなとまち神戸のシンボルとして 新たな魅力を与えるもの

着眼点1 ～さらなる利便性向上

- ・ シティー・ループ、コベリン等との連携
- ・ まちづくりと停留所の連携
- ・ 交通結節点でのわかりやすい案内 等

着眼点2 ～都市魅力の向上

- ・ 新たな神戸のイメージを創る、新しく、独自性あるデザイン
- ・ ウォーターフロントを感じさせるデザイン
- ・ 夜景を考慮したデザイン

着眼点3 ～運行開始への期待醸成

- ・ 本事業への関心を集める市民参加
- ・ 運行開始へ期待を醸成する広報 等

■デザインコンセプト

PORT BLUE

みなとまち神戸の風景をうつし込む ひと・まちが輝く 新たな公共交通

■デザイン方針

<車両エクステリア>

- ・ 「歩行者に近い公共交通」を感じさせる**先進性**、**街のアイコン**となり市民が誇れる独自性に富むデザインとする。
- ・ **ウォーターフロント**へ向かう**路線**であることを伝えるデザインとする。
- ・ **夜間景観**を創る照明デザインを検討する。

<車両インテリア>

- ・ 居心地の良い空間、**車窓景観を楽しむ**ことができる空間とする。
- ・ **港町・神戸**を感じられるデザインとする。

<バス停>

- ・ まちづくりと連携し、シェアサイクルやパークレット等との**機能統合**が可能なデザインとする。
- ・ **車両デザイン等との関連性**を持ち、統一のとれたデザインとする。

<VI (ビジュアル・アイデンティティ)>

- ・ 利用者の体験をトータルにデザインし、**明示性**のあるシステムとする。

<市民参画・広報>

- ・ 市民・企業が**期待と愛着**を持てるような参加や広報を検討する。



新規性・独自性あるエクステリアデザイン (ツール)



海を感じさせるデザイン (マルセイユ)



車両と停留所の関連性・一貫したVI (新潟市萬代橋ライン)



2. (1) バス車両デザイン



- ▶ 「神戸らしい進取の気風」を感じる新しい乗り物感
- ▶ 持続性の高い、シンプルで美しいスタイリング
- ▶ 駅前からウォーターフロントへ向かう、期待感
- ▶ 新しい風景、夜景の創出
- ▶ 安心感と安全性の向上



2. (1) バス車両デザイン



2. (1) バス車両デザイン





○バス停イメージ（検討中） ・車両等と一体でのトータルデザイン

標柱タイプ



案1

案2

上屋タイプ



正面

側面

○機能 ※タイプ・機能は検討中

No.	バス停	上屋タイプ	標柱タイプ	デジタル サイネージ	W i F i 機能	コ ベ リ ン ポ ー ト	憩い空間 整備	備考
①	三宮駅前	○	●	●	●			三宮交差点整備 完了時に本設
②	東遊園地前		●					
③	税関前（南行）		●			●		
④	新港町		○			○		既設標柱を暫定利用 新港町開発完了時に 本設
⑤ ⑦	ポートタワー前	○	●	●	●	●	○	周辺状況に応じて 上屋・憩い空間設置
⑥	ハーバーランド	○	●					上屋設置検討中
⑧	ポートアリス前（東行）		●			●		
⑧	貿易センター		●					
	神戸駅南口		●	●	●			

※○は本格運行開始時点は未整備

3. 令和2年度プレ運行について



■令和2年度プレ運行（案）

- 目的:本格運行に向けたPR
- 日程:令和3年1月
- 車両:連節バス 新車両1台 (+ 既存連節バス)
- 時間帯:9:30~19:30の10時間程度を想定
- 運行間隔:約30分間隔
- 運賃:210円/回(1日乗車券500円)
- その他:路線名称の市民アンケートを実施

